



1-1



1-2

裾野カローリングクラブは、発足3年目を迎え毎月第2木曜日に裾野市民体育館で静岡県カローリング協会岡田行一会長の指導の下、裾野市、三島市、沼津市、御殿場市の有志からなる30名の会員が、元気にカローリング競技の練習と仲間づくりに取り組んでいます。

このコロナ禍の中、仲間の皆さんが元気な姿で再会し、競技が出来ることを願い全員(写真1-1)が、つね日頃から三密を避け不要不急の外出をせず「感染しない、感染させない」を合言葉に、月一度のふれあいを楽しむ感染予防意識の高い高齢集団です。

昨年度から始めた恒例の「裾野カローリングクラブ新春大会」が今年も開催され(令和3年1月14日)、誰一人体調を崩す会員も出ず参加され、岡田会長の開会挨拶(写真1-2)で大会の幕が切り落とされました。



2-1



2-2

大会参加の必須条件として、

- ① 自宅での体温測定実施(37℃以下のこと)
- ② 同居家族に発熱者のいないこと
- ③ 食べ物が無味・無臭の人の参加は不可
- ④ マスク着用のこと
- ⑤ 人と人との間隔を1.5m以上とる
- ⑥ 体育館入館時に検温と手の消毒実施
- ⑦ 体育館アリーナの出入り口は開放
- ⑧ 避難路・窓の開放により換気の徹底を図る
- ⑨ 使用競技器具(ジェットローラーハンドル)のアルコール消毒

主催管理者が、上記項目を入念にチェックし危険要素の除去を図った大会運営となっています。

競技開始

参加チームは10チーム(1チーム3人)で、試合方式はメジャー競技、競技方法は1試合5イニング(所要時間は45分)



3-1



3-2

和気あいあいと試合は進行していますが、熱中すぎてソーシャルディスタンスが保たれない場面が生じた際は、すぐに注意喚起の呼び掛けが入ります。

この日のために自粛生活を心がけ、安心・安全の体調で参加された皆さんのマスクの下の顔には、健康な姿で仲間と競技出来る喜びが、ひひひと滲み出ているようにも見えました。



4-1



4-2

御殿場市から参加された勝又神代子さん(写真4-1)が、投球者にジェットローラーの走行方向を指示しています。指示している相手は、画像に写っていませんが夫の臣慎さんです。

写真4-2は、第1試合の第5コートで対戦中の「富士山っちチーム」VS「すみやんチーム」です。生きがい特派員の安藤智章さんが活躍している姿です。



5-1



5-2

試合に熱中するところなる場面をフォーカスしてみました。

写真5-1 → 「裾野バラ」チームの飯塚郁子選手の祈り！ “得点ゾーンに入りますように”

写真5-2 → 「チーム小南」の室伏重勝選手は、13m先のスタートラインから投球しようとして

て

いる選手(奥さん)に大きな声とジェスチャーで指示を出しています。

チーム名	国数	得点	失点	総得点	総失点
裾野バラ	15	6	21	21	36
裾野スー	2	3	11	11	13
チーム小南	16	7	9	9	24
チーム北	17	11	28	28	45
チーム南	9	10	25	25	34
チーム東	18	8	28	28	46
チーム西	10	12	17	17	27

6-1 (2)



6-2

試合結果：優勝「すみれ」 得点28.030102
準優勝「すそのん」 得点28.020303
三位「裾野バラ」 得点23.050602

写真6-2 優勝チーム「すみれ」のみなさんおめでとうございます。山下キミ子さん(右側)、今泉政子さん(中央)、渡辺初代さん(左側)



写真7-1 準優勝チーム「⁷⁻¹すそのん」のみなさんおめでとうございます。⁷⁻²白井智子さん(左側)、杉山典子さん(中央)、渡邊育子さん(右側)

写真7-2 三位チーム「裾野バラ」のみなさんおめでとうございます。若林政江さん(右側)、飯塚郁子さん(中央)、広井栄子さん(左側)

1か月に1回の練習会ではありますが、仲間と会えるのを楽しみに健康管理に励みコロナ感染対策も万全に取り組み日々を過ごされている「裾野カローリングクラブ」のみなさんの明るい表情は、行き詰ったコロナ禍の中で何事にもかえがたい明るい光景でした。

自粛・自粛で自宅に閉じこもる機会が多い高齢者層に、体調不良やチョットしたことに苛立ちを覚える人がいると聞いています。

コロナ禍の環境がすぐに好転する兆しはまだ見えてきていませんが、このような状況下で安全な環境と危険な環境を検知できるセンサーを身に着け、常に安全の方向に進んでいきコロナウイルスと出会うことのないことを願っております。

いま私たちは、周りの人を思いやる心を大切にして”感染しない、感染させない”そのために自分の行動に責任を持ち、カローリング競技に生き甲斐をもっている仲間と一緒に健康づくりに励み、楽しみながら前向きに取り組んで頂きたいと願っております。

取材： 富士・富士宮・北駿地区担当 生きがい特派員 渡邊英機